

経済協力開発機構化学品・バイオ技術委員会化学品プロジェクト拠出金

製造産業局化学物質管理課

令和5年度予算額

0.2 億円 (0.2 億円)

事業の内容

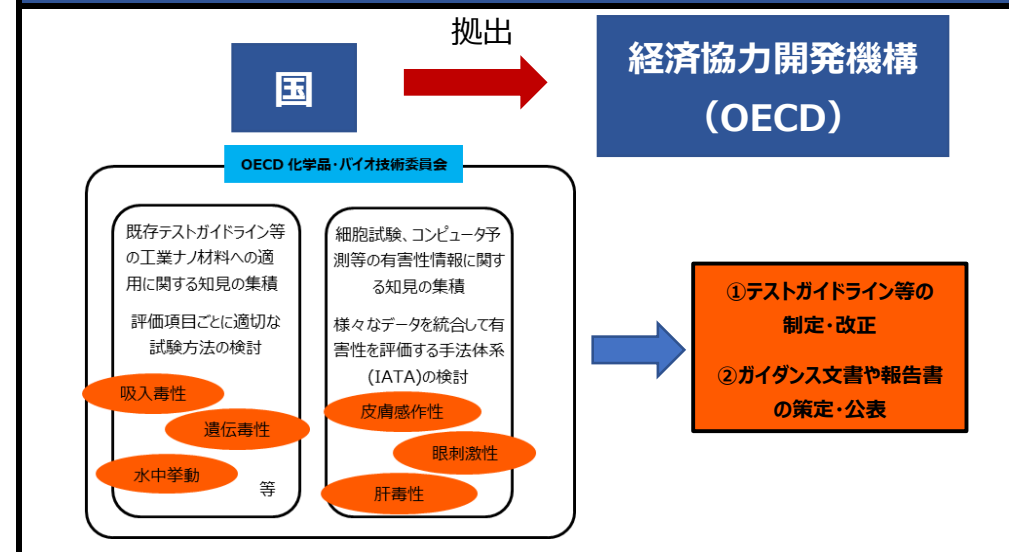
事業目的

日用品から産業分野まで幅広い用途での利活用が期待されている工業ナノ材料は、その大きさ、形状、表面反応性等のために従来の物質とは異なる挙動を示す可能性が指摘されているところ、その安全性問題等について経済協力開発機構（以下「OECD」）における議論を我が国が主導することによって、我が国の将来的な国益を確保することを目的とします。

事業概要

工業ナノ材料の安全性問題に関しては、その特性評価等の科学的知見が不足しており、OECD内で加盟国の協力の下にリスク評価手法の検討等のプロジェクトが進められています。また、化学物質の効率的なリスク評価・管理の観点から、動物や細胞を用いた試験等から得られる様々なデータを統合して評価する手法体系（IATA）が世界的に注目されており、OECD内で加盟国の協力の下に検討プロジェクトが進められています。こうした分野を我が国が主導していくとともに国内にも知見を還元するためにも、これらプロジェクトを担当するOECD事務局員として当省職員を派遣し、所要の拠出を行います。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

工業ナノ材料のリスク評価等に関するプロジェクト及びその運営を行う工業ナノ材料作業部会、IATAの検討プロジェクト等を担当するOECD事務局員を派遣し、我が国が工業ナノ材料の安全性問題に関するリスク評価手法の検討等のプロジェクトを主導します。